



慈恩寺 Times

第28号

【発行】
寒河江市慈恩寺振興課
【発行日】
平成30年4月20日(金)
【問合せ・ご意見等】
寒河江市慈恩寺振興課
TEL:0237-86-2111(内線452)
E-mail:jionjishinko@city.sagae.yamagata.jp

整備基本計画を策定～史跡整備始まる～

今年度は

- ・史跡の整備基本設計
- ・ガイダンス施設の基本設計
- ・本堂裏などの危険木の伐採、枝打ちを行います。



3月末、慈恩寺旧境内の整備に関する計画「史跡慈恩寺旧境内整備基本計画」が策定されました。

慈恩寺旧境内の歴史的な場を将来に伝えていくための保存整備や、来訪者に理解してもらうための活用整備の計画を盛り込んでいきます。今後はこの計画に基づいて、史跡の整備を行います。

整備基本計画書は、市立図書館や各区公民館で閲覧することができます。



「太平楽」

慈恩寺では、江戸時代に年間58回の法会を行っていました。5月の「濫觴会」「一切経会」は、58回の法会に含まれます(江戸時代はそれぞれ4月7日・8日開催)。また、一切経会の「舞楽」は、華麗で勇壮なものです。

ぜひ、現地でご覧ください。

5月4日

本堂にて
午後8時

らんじょうえ 濫觴会

慈恩寺の1年始まりの行事。楽の音と読経が響き渡る中、本堂の宮殿を開き、本尊を清めます。

法会から慈恩寺の歴史を
感じてみよう！

この4月から、慈恩寺振興課が市役所4階に設置されました。慈恩寺の史跡整備や観光振興に関することを総合的に担当します。

慈恩寺振興課を新設

新・国指定重要文化財
木造聖徳太子立像の
東京国立博物館展示
5月6日まで

5月5日

いっさいきょうえ 一切経会

境内にて
午後1時30分

一切経(全ての経典)を供養する慈恩寺最大の行事。

宝蔵院・最上院の出仕の後、本堂内や山門前舞台上で散華・唄・梵音・錫杖の「四箇の法要」が行われます。

国指定重要
無形民俗文化財

舞楽

午後2時

四箇の法要につづき、林家により陵王など6番、慈恩寺一山衆により太平楽など2番が奉奏されます。



「陵王」

慈恩寺を歩いてみよう！

「仁王坂コースその1」

慈恩寺旧境内は、江戸時代の絵図に描かれた様子が良好に残っていることから国史跡に指定されました。

江戸時代や明治時代に描かれた慈恩寺の様子と今の様子を見くらべて、慈恩寺を歩いてみましょう。

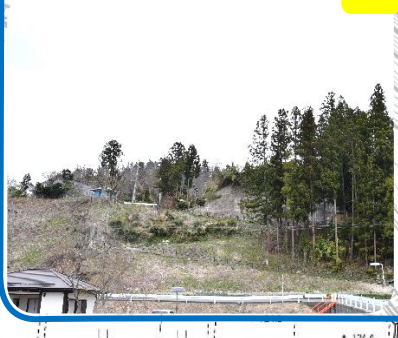
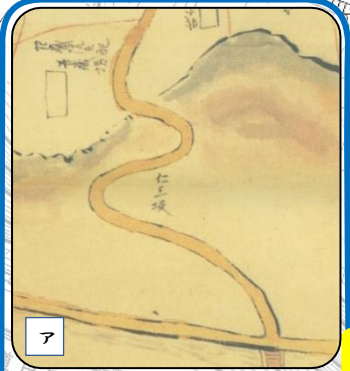
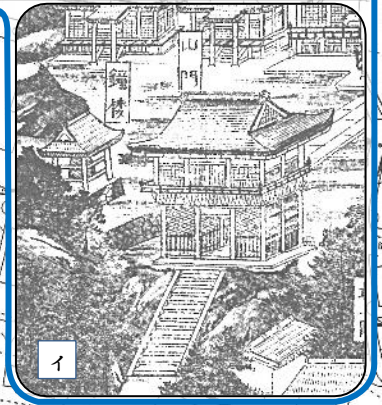
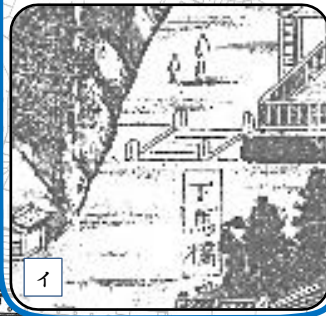
今回は、慈恩寺活性化センターから本堂境内までを紹介します。この道は昔、本堂への主要な参道でした。整備計画では、史跡を巡る基本コースとしています。



ここから山門(仁王門)が見えます。山門は、今から約280年前の元文元年(1736)に建てられたものです。5月5日の舞楽では、2階が楽屋になり、演奏が行われます。



ここには下馬橋がありました。ここから先は位の高い人でも馬を降りなければなりません。現在、橋はなくなりましたが、「下乗」の看板があり、下馬橋の存在を伝えています。



ここからは仁王坂が見えます。江戸時代の絵図にはつづら折りの様子が描かれており、昔と変わらない姿であることがわかります。

絵図出典
ア：正徳6年(1716)慈恩寺一山絵図
イ：明治35年(1902)羽州慈恩寺一山全図